

11 月季節の便り



ノビタキ♀：

北海道・東北の草原で子育てをして南に渡る途中の立ち寄りです。♂は頭部が黒、胸がオレンジ、黒の羽には白い斑点があり見栄えがするのですが、残念ながら見つかりませんでした。



マガモ♂：

2羽ともマガモのみで、換羽中のため冴えない色合いですが、これから今年の3月季節の便りで紹介したような頸から頭が鮮やかな青緑になります。



どんぐり

マミチャジナイ♂：

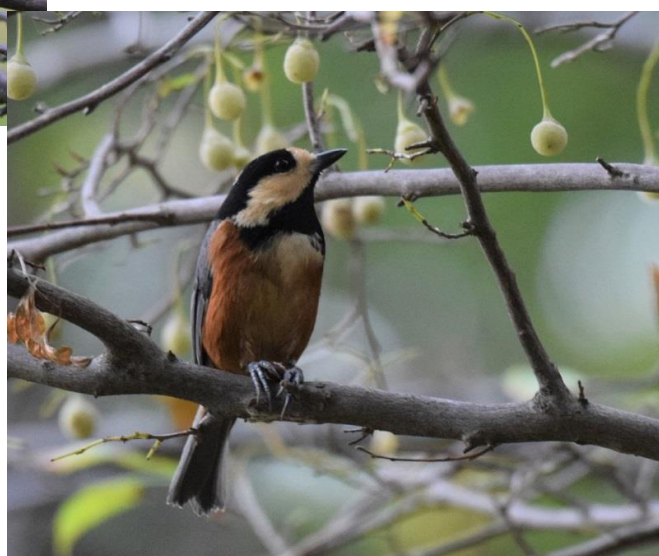
ツグミの仲間でヒヨドリと同じくらい大きさ。旅鳥で北の国から南の国への旅の途中の燃料補給で立ち寄って、クマノミズキの実を食べていました。





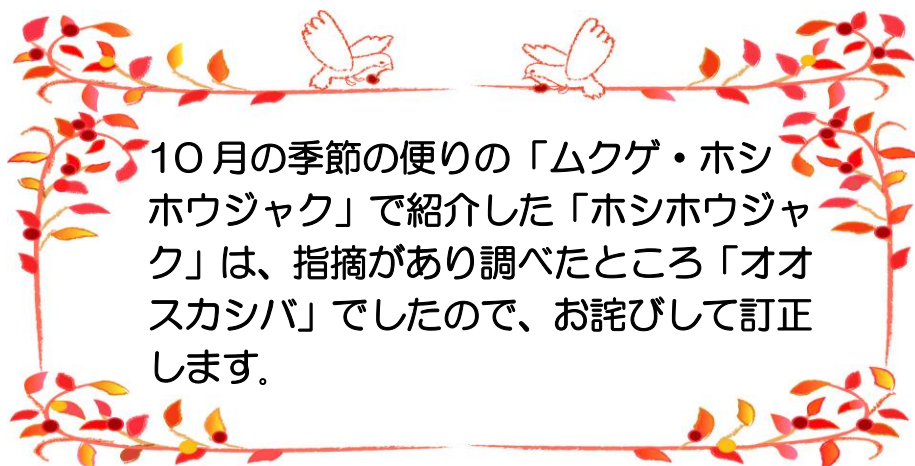
ヤマガラ：

久しぶりに姿を見せて、エゴノキの実を採っていました。有毒な薄緑色の果皮を割って中の赤い実を取り出して食べたり、木の割れ目に運んで貯えたりしていました。



コガモペアー：

手前の大きい方が♂。この時期は雌雄あまり変わらない色合いです。♀はほぼこのままの色合いです。♂はそろそろ換羽して、目の周りが緑色頭部が赤茶色になります。換羽後の写真を撮るのを楽しみにしています。



10月の季節の便りの「ムクゲ・ホシ
ホウジャク」で紹介した「ホシホウジャク」は、指摘があり調べたところ「オオスカシバ」でしたので、お詫びして訂正します。